



薬は自然治癒力を高めるものです。人間の体には本来病気やけがを回復させるためにはたらく「自然治癒力」が備わっています。自然治癒力が弱くなると風邪などの感染性の病気にかかりやすくなり、病気やけがも治りづらくなります。このような時、健康な状態に早く戻れるように補佐するのが薬の役割です。



ブタクサやヨモギ等の雑草の花粉が原因です。11月くらいまで飛散します。症状は春の花粉症と同じです。のどの違和感から気管の症状に注意しましょう。

頭痛薬、腹痛の薬、生理痛の薬、花粉症の薬…薬は手軽に飲めて、悩ましい症状を改善してくれる便利なものです。けれど、正しく飲まないとも効果が現れないだけでなく、思わぬ副作用が出る危険なものでもあります。

クイズを通して薬の正しい飲み方を学びましょう！

ちゃんと知ってる？

薬の飲み方

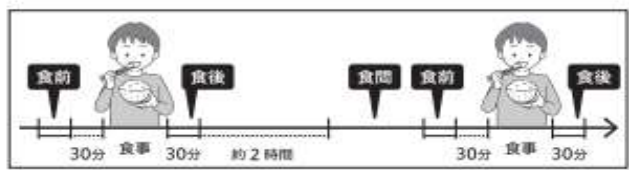


Q.1 「食後」に飲む薬は、食事の約30分後までに飲むと良い

A. 「食後」の場合は、食事の約30分後までが最適なタイミング

どの薬も、「食前」「食後」「食間」など飲むタイミングが決まっています。これは胃の状態に合わせて、できるだけ体に負担をかけずに効果を発揮するためです。

最も多いのは「食後」に飲む薬。薬は胃に刺激を与えるものも多いため、胃の中に食べ物がある状態で飲むことで、胃にかかる負担を減らすことができます。

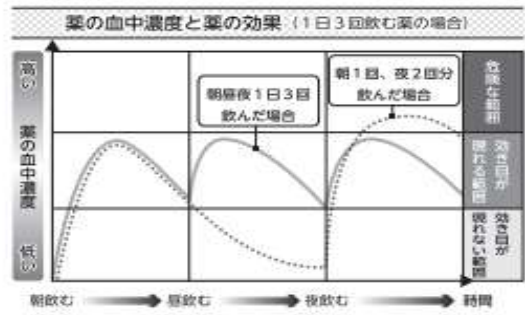


- 食前** 食事の約30分前までに飲む。胃に食べ物がない状態で効果を発揮する
- 食間** 食事の最中ではなく、食事と食事の間。食後2時間程度が目安

Q.2 飲み忘れた場合、次のタイミングで2回分飲んだほうが良い

A. 副作用の危険があるため、一度に飲む量は必ず1回分に

薬は吸収された後、血液中に溶けて全身を巡ります。この血液中に溶けている薬の濃度を「血中濃度」と言います。どの薬も、血中濃度が一定に達した時に効果を発揮します。薬の飲む量やタイミングは、この血中濃度をもとに決められています。一度に2回分飲むと、血中濃度が高くなりすぎて副作用が出やすくなり、大変危険です。飲み忘れた場合は1回分飛ばし、次のタイミングに1回分飲みましょう。



Q.3 薬はお茶や牛乳、ジュースなど、何で飲んでも良い

A. 薬の吸収が遅れたり、効果が強まったりする恐れが。水かぬるま湯で飲むように

薬をお茶や牛乳、ジュースなどで飲むと、飲み物の成分と薬の相互作用により、薬が吸収されにくくなったり、効果が強くなりすぎて副作用が出たりすることがあります。コップ1杯程度の水かぬるま湯で飲みましょう。



お茶やコーヒー (カフェイン)	風邪薬などのカフェインを含む薬と一緒に飲むと、眠れなくなったり、頭痛が現れることがある
牛乳	胃の中のpHが変わり、腸で溶ける薬(便秘薬など)が胃で溶け、胃痛や吐き気が起こることがある。カルシウムと結合して効果が弱まる薬も
ジュース	胃の中のpHが変わり、薬が吸収されにくくなったり、効果が弱まる場合がある。逆にグレープフルーツジュースは薬の血中濃度を高め、効果を強めてしまうことがある

※pH：酸性・中性・アルカリ性の度合いを表す。胃は通常、強い酸性で、食べ物と一緒に入ってきた細菌などを殺菌する

薬の「量」や「飲むタイミング」にはちゃんと意味があります。添付文書にも目を通し、必ず決められた用量・用法で飲みましょう